



## 8月 おいすかだより

2022年8月16日発行

日本のこの夏は殊のほか暑さが厳しいと聞いております。皆さまお元気ですか。ジャカルタの園児もご家族、そして教職員も元気に過ごしております。

今は夏休みの真っ最中ですので、今月号の「おいすかだより」では保育から少し離れた幼稚園の情報をお伝えいたします。

下の画像をご覧ください。オイスカ幼稚園が研修のお手伝いをさせていただいているインドネシア幼稚園教職員組合が開催したコーラス・コンテストの授賞式



です。インドネシア全34州(もうすぐ37州になりそうです)の全幼稚園が加盟するこちらの組合では、毎年コーラス大会が行われています。今年の大会では東ジャワ支部が全国第二位を獲得し、理事長先生が授賞

式へのご招待を受けました。インドネシアの方々には歌が大好きで、幼稚園のローカル・スタッフも保育後は業務にあたりながら美しいハーモニーを聞かせてくれることがあります。今後はオイスカ幼稚園とインドネシアの幼稚園の園児同士の歌の交流ができるといいですね。お互いの国の子どもの謡を披露し、音楽会ができたら素敵です。

日本と異なり、インドネシアでは先月に新学期が始まったばかりです。長期の

オンライン保育の後の新学期であり、インドネシアの幼稚園教育要領(国が規定する保育のカリキュラム)の改訂も重なりました。

これまでインドネシアの幼稚園の保育は小学校のように勉強が中心でしたが、日本のように遊びを通しての学びも重視する方向へ進んできています。けれども、どのような遊びが学びにつながるのか、インドネシアの先生方は、まだ手探りの状況なのだそうです。これまでもオイスカ幼稚園にインドネシアの大学生がインターンとして、また現場の先生や大学の先生方も見学にいらしていましたが、教育要領の改訂を機に日本の保育を学びたいという希望が以前にも増して多く幼稚園に届くようになりました。園にいらっしゃるのは学習意欲が旺盛なインドネシアの方々ばかりです。お見掛けした時には、英語でもインドネシア語でも日本語でも結構ですので、気軽にお声掛けしてみてください。インドネシアはアメリカに次いで世界第二位に日本語学習者が多い国ですので、日本語で挨拶が返ってくることもあるかもしれません。

下の画像は、インドネシアの幼稚園の教育要領の手引書の一つです。手引書は複数あり、この手引書は”Balajar dan Bermain Berbasis Buku”「絵本を活用した学びと遊び」のバージョンです。絵本は子どもの想像力を育み語彙を増やし、良質な物語と挿絵は読み手に希望や世界への信頼感を与えてくれます。もうしばらくしましたら以前のように幼稚園で各ご家庭がご希望の月刊絵本を購入できるようにしたいと考えております。

シマトウパンのこども園は夏休み中も保育を行っております。ご希望の方は以下の携帯番号にご連絡ください。  
+62-21-7814700 または +62-812-9912-4351 (WhatsApp 対応可能です)

